



## 当院における漢方診療の実際

# アンチエイジングの可能性を秘めた 人參養栄湯は高齢者医療に不可欠な薬剤

医療法人財団 額田記念会 額田記念病院 副院長、整形外科 漆原 信夫 先生



1983年 東京慈恵会医科大学 卒業  
1985年 同院附属病院 整形外科  
1992年 アイオワ大学 留学  
1999年 東京慈恵会医科大学 整形外科教室 講師  
2001年 神奈川県立汐見台病院 整形外科 部長  
2010年 額田記念病院

医療法人財団 額田記念会 額田記念病院は、東京都心にほど近い別荘地として発展してきた鎌倉市の住宅街に位置し、「地域の方々に役立つ病院」として長年、地域医療に貢献している。同院の副院長で整形外科ご担当の漆原信夫先生は、日々の診療に漢方治療を積極的に取り入れておられる。中でも人參養栄湯は、超高齢社会における医療に不可欠だけでなく、アンチエイジングの可能性も秘めていると期待を寄せておられる。

### 開設100周年を迎えようとしている当院

当院は、東邦大学の設立者でもある額田豊・晋の両博士によって、1920年(大正9年)に当地で開設された、非常に歴史のある病院です。夏は涼しく冬は暖かい、しかも都会を離れた静かな当地に「額田保養院」の名称で、呼吸器の療養所として開設されました。現在は内科、整形外科、リハビリテーション科などの診療科と療養型病床(58床)を有する病院として、地域医療に大きく貢献しています。

鎌倉市は全国平均以上に高齢化が進んでおり、当科を受診される患者さんの平均年齢はすでに80歳を超えています。大半の患者さんは骨粗鬆症をお持ちですし、脆弱性骨折や変形性関節症、脊柱管狭窄症などの患者さんも多く診療しています。

### 漢方薬は患者さんに合った服用方法・服用量で、継続していただく

私は、日常診療に漢方治療を積極的に取り入れています。漢方に興味を持つようになったきっかけは、こむら返りに対して使用した芍薬甘草湯の劇的な効果を目の当たりにしたことです。さらに漢方の書籍を読むことで、漢方の奥深さに興味を持つようになりました。現在、汎用している処方には、後にご紹介する人參養栄湯など多くあります(表)。

漢方薬は服用を継続していただくことが重要です。しか

し、患者さん個々で適量が異なるので、ご自身に合った服用方法・服用量を患者さんと相談しながら、あるいはご自身でも工夫していただきます。たとえば、夜間から早朝に起こるこむら返りに用いる芍薬甘草湯なら、就寝前の服用に、水太りに用いる防己黄耆湯で夜間排尿が頻繁にあるようなら朝1回服用か半分量に、また1日2回~3回の服用が難しいようなら1回にさせていただくこともあります。

また、私は診察時の患者さんとの会話を大切にしています。たとえ1回の診察に時間をかけなくても、診察ごとにお聞きするポイントを絞ることで貴重な情報を入手できますし、回数を重ねることで情報が蓄積されます。しかも、その患者さんだけでなく、いただいた情報は他の患者さんの指導にも役立ちます。

表 漆原先生の汎用処方

処方名	主な疾患・病態
防己黄耆湯	●変形性関節症(下肢のむくみに痛みを伴う場合) ●水太り
防風通聖散	●肥満(脂肪太り) ●便秘
五苓散	●変形性関節症(下肢のむくみに痛みを伴わない場合)
牛車腎気丸	●坐骨神経痛
芍薬甘草湯	●こむら返り
当帰四逆加呉茱萸生薑湯	●冷え
補中益気湯	●手術時のMRSA予防(術前より服用していただく)
治打撲一方	●打撲
清暑益気湯	●夏バテ

## 私の効果的な口説き文句は 「人參養栄湯を服用すると認知症にならない」

フレイルに対する人參養栄湯の有用性は広く知られており、私の汎用処方の一つでもあります。人參養栄湯の効果を最も感じるのは食欲不振の改善、そして疲労倦怠感の改善です。食欲が落ちていると疲労倦怠感を伴うことも多くありますが、そのような方に人參養栄湯を服用していただくと早期から顕著な改善効果を実感します。さらに興味深いことは、人參養栄湯の服用患者さんで「基本チェックリスト」(厚生労働省老健局老人保健課作成)の項目21~25の5項目(うつ・心の状態)が改善するケースが意外と多いことです。人參養栄湯の服用によって認知症が改善したというような経験はまだありませんが、食欲不振と疲労倦怠感の改善によって、今までは気分が落ち込んで外出も面倒だった方が前向きになることが影響しているように思います。もちろん、食欲不振の改善を目的に使用する漢方薬は他にもありますが、人參養栄湯にはメンタル面にも作用する生薬・成分が含まれており、認知症の予防効果も期待できます。特に高齢の患者さんには、「将来、認知症にならない可能性もある」という効果的な口説き文句で、服用を継続していただいています。

さらに人參養栄湯のフレイルに対する有用性を、疲労倦怠感を訴える41名の患者さん(男性7名、女性34名、平均年齢81歳)を対象に検討しました。人參養栄湯の服用期間は8週間です。このうち12名が脱落しましたが、その中で3名は「改善したから必要ない」という方でした。また、副作用は「胃がだるい」(1名)だけであり、安全性も高いと思います。

解析結果を見ると、疲労倦怠感は服用2週間後から劇的な効果が認められましたし、食欲不振も同様の感触でした。さらに、基本チェックリストのうつ・心の状態の5項目については、4項目以上の改善が3名、3項目改善の方が4名でした。

## 人參養栄湯はアンチエイジングの可能性も

興味深い症例をご紹介します。患者さんは78歳の女性で、糖尿病をお持ちです。疲労倦怠感が10(NRS)でしたが、人參養栄湯の服用1ヵ月後には3、約3ヵ月後には0になり、食欲不振にいたっては服用1ヵ月後に消失しました。しかも、3ヵ月後には基本チェックリストのうつ・心の状態の5項目のすべてと口の渇き(No.15)の改善、さらに体重減少も改善しました。この患者さんは、初診時にはご主



人が運転される車で来院されましたが、3ヵ月後には電車やバスで一人でも来院されましたし、買い物も一人できるようになりました。さらに、人參養栄湯はインスリン抵抗性改善効果を有するという報告があることもお話して服用を続けていただいたところ、HbA1cも改善していました。もちろん、人參養栄湯の単独効果とは言えませんが、糖尿病の病態にも好影響がありました。

この他、人參養栄湯を服用することで寝つきがよくなった、睡眠の質が改善したという患者さんもいらっしゃるから、今後は睡眠に及ぼす影響についても検討したいと思っています。さらに期待したいのが毛髪やお肌への影響です。人參養栄湯は血虚を改善する漢方薬ですから、理論的には毛髪が増える、お肌がすべすべになる、というような効果を発揮する可能性もあると思います。そう考えると、人參養栄湯はアンチエイジングの可能性を秘めているのではないかと期待しています。

## 人參養栄湯の活用で健康寿命を延伸

人參養栄湯は現在の医療、そしてこれからの医療において不可欠な薬剤の一つと考えても良いのではないかと考えています。しかも、西洋薬とは異なり、多方面から複合的に効果を発揮するので、フレイルの病態に対して一剤で対応できるメリットがあるだけでなく、これから明らかになると思われるアンチエイジングの可能性も期待できると考えています。

高齢患者さんに対して、一人の医師ができる範囲には限界があることから、他診療科、他職種の皆さんと密に連携をしながら、人參養栄湯を中心とした漢方薬を活用することで、高齢者の健康寿命の延伸に少しでも貢献したいと思っています。

取材：株式会社メディカルパブリッシャー 編集部 写真：山下裕之